

2023 ツアー実施日
10:00-17:00

11.10 金

第18回

日中韓

国際ランドスケープ

専門家会議

2023.11.10-12@京都大学

開催以来初の

学生企画ツアー メンバー募集!

今までのデザインコンペの代わりに、国際学会に参画できる機会となります

大学間の壁を越えてチームを結成し、
日本の造園空間を海外の参加者に紹介しませんか？

※京都から日帰りできる滋賀・大阪・奈良・神戸なども可!

※見学地は庭園・公園・緑地・街並・都市なども可!



〈応募資格〉

- ・日本の大学や短期大学に在籍
- ・京都やその周辺の造園空間に興味がある
- ・年齢・国籍・大学所在地不問

〈参加特典〉

- ・大会参加費などの免除
- ・大会シンポジウム(11/11)の登壇
- ・参加証書・感謝状の贈呈
など

仮登録&キックオフ
説明会申込



質問はこちら



5月下旬 キックオフ説明会
オンライン開催!!

詳細は裏面へ

【大会テーマ】

アジアから発信する次世代のランドスケープ 伝統と革新

Next Generation of Landscape from Asia : Traditions and Innovations

アジアには、豊かな自然や文化に根差した伝統があり、それが美しい景観として立ち現れています。同時に、技術革新の最前線として、その景観はダイナミックに変化しています。

本会議では、ランドスケープの専門家が一堂に会し、伝統と革新の両軸において研究や実践の成果を共有して、我々が直面する諸課題へどのように応えることができるのかを探求します。例えば、気候変動への対応、災害リスクの抑制、生物多様性の向上、大気汚染の防止、水資源の適正管理、大量廃棄物の処理、文化的景観の保全、健康で幸せな暮らしの確保、美しい景観の形成といった課題が想定されます。このような課題に応える上で、自然との共生に由来するランドスケープの伝統技術は、「ネイチャー・ポジティブ」という地球規模の目標を追い風に、社会の持続可能性を実現するためのヒントを与えてくれるに違いありません。

自律分散型の次世代インターネット Web3.0 の時代が到来し、人工知能や仮想現実をはじめとする技術革新とともに、時間と空間の両軸で私たちの取り組みの領域が拡大するでしょう。技術革新の果実を活用し、これらの課題に真正面から立ち向かう主人公として、持続可能な次世代ランドスケープの有り様を世界へ発信することを目標とします。

〈学生ツアーの概要〉

〈ツアー実施日〉

・2023年11月10日（金）10:00～17:00頃

〈使用言語〉

当日の案内と見学資料作成では、英語 or 日中韓3カ国語

学生を卒業し社会人となれば、公務員は市民向けイベントの開催、大学教員はオープンキャンパスや学会の運営、企業は新商品の開発など、さまざまな場面で企画力・コミュニケーション能力・語学力が求められます。本大会は、日中韓から多くの研究者や学生が参加されます。今回の企画は、参加者に日本の造園空間を紹介し、自分自身の能力を磨き、人脈を形成し、将来へ繋げたい学生のために考案しました。

挑戦してもらいたいのは、造園空間の魅力の再発見と国際的な発信になります。少しでも興味があれば、まず5月下旬のキックオフ説明会に参加してみましょう。各チームが担当するコースの参加者規模は10名前後と想定し、3～6チームを結成します。異なる所属の学生でチームを結成すれば、大学間や異分野の交流も可能になるでしょう。

コースのテーマと内容は一般の観光客向けのを避け、上記の大会趣旨に基づき提案して頂きます。例えば、庭園・風景・自然・文化・環境・コミュニティ・生物多様性・文化的景観・都市景観・自然災害・水環境・デジタル技術が考えられます。ご自身の研究内容をもとに設定した場合、海外の研究者の関心を引き寄せ、研究成果の発信にもつながるでしょう。アイデアがなくても、語学力に自信がなくても、遠方の大学から一人の登録でも、やる気があればチームの中で活躍できる場がきっとあります。

〈実施までの予定〉

5月下旬 オンライン説明会・メンバー登録

6月上旬 第1回オンラインMTG (顔合わせ)

下調べ開始

7月上旬 第2回ハイブリッドMTG (情報交換会)

コースの詳細を決定

9月中旬 第3回オンラインMTG (情報交換会)

資料作成

11月10日 学生企画ツアー実施

11月11日 シンポジウム登壇・証書贈呈

〈スケジュールモデル〉

チームリーダーとしての1例です。

5月下旬、オンラインキックオフ説明会に出席し、大まかなテーマ構想を共有します。

6月中、第1回オンラインMTGに出席し、テーマに興味を持ってくれる他大学の学生とチームを結成します。その後、メンバーとの下調べで見学候補地を絞ります。遠方のため同行できないメンバーには、オンラインで下調べの結果を共有します。

夏休み前の第2回ハイブリッドMTGに現地 (@京都) 出席し、テーマ設定と見学地について情報共有し、他のチームと被らないように調整します。メンバーのチーム間の移動希望があれば調整します。

夏休み中、メンバーと見学地を訪問し、現地案内の内容を固め、必要があれば見学の許可を取ります。数百字のコース紹介文を作成し、後学期が始まる前の第3回オンラインMTGで共有します。その内容は大会HPにて公開され、参加者受付が始まります。

10月中、チーム内で資料作成を進め、時間を把握するために現地案内のリハーサルをします。10月末に完成した資料を委員会に提出し、印刷作業が行われます。いよいよ本番です (後はご想像にお任せします)。